

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/8/22～2017/08/31)

### 勉学の状況

#### 1.

まずは、私がここ、フィンランドのタンペレ工科大学 (Tampere University of Technology) に留学に来た理由から整理したいと思います。ひとつは専攻している電気電子工学の知識を広げること、二つ目はフィンランド式教育について興味があったので現地では現在どんな教育がされているのか調査すること、三つ目は英語です。

一つ目は、つまり交換留学生として単位を取得する、ということなのですがそれについて、現地に着くまで自分が選択した科目が本当に英語で開講されているかどうか不安だったのですが、その心配は必要ありませんでした。下記のリストの通り、かなり多くの科目が英語で開講されていました。

<http://www.tut.fi/opinto-opas/wwwoppaat/opas2017-2018/kv/aineryhmat/index.html>

ちなみに私の first period の履修はこんな感じになりました。

wk37	Mon 9/11	Tue 9/12	Wed 9/13	Thu 9/14	Fri 9/15
all-day					
8am		8:00 - 10:00 PC110 KIE-10018 Starting Finnish/O/01			
9am	8:00 - 12:00 PK103 KIE-05006 Intercultural Communication Skills/O/01				8:00 - 12:00 K1705 ELT-41206 Basic Course on Wireless Communications/Lec/01
10am		10:00 - 12:00 SA203 ELT-44606 Digital Circuits and Platforms/Lec/01			
11am					
12pm	12:00 - 2:00 PB132 KIE-08106 Intercultural Workplace/O/01		12:00 - 2:00 PB204 KIE-05106 Intercultural Workplace/O/02		12:00 - 2:00 PB203 KIE-10018 Starting Finnish/O/02
1pm					
2pm	2:00 - 4:00 PB223 KIE-05006 Intercultural Project Work/Lec/01			2:00 - 4:00 SA203 ELT-44606 Digital Circuits and Platforms/Lec/02	
3pm					
4pm					
5pm		5:00 - 7:00 SB211 ELT-41206 Basic Course on Wireless Communications/E/01			
6pm					
7pm					
8pm					

二つ目についてですが、これについては現在見学させてくれる小中学校、もしくは高校について調べているところです。同時に教育についての知識は読書を通して深め、exchange student との対話で広がっていきと思っています。

三つ目の英語についてですが、着いてからまだ二週間なので、オリエンテーションや講義のイントロダクションを受けたのですが、今の自分の英語力ではかなり厳しいです。しかし、すべての講義が流暢な英語で行われるので、英語力はすぐに伸ばせそうです。



写真1：メインビルディングからみた風景

この大学は、敷地面積は千葉大並みに広く、図書館も綺麗で整っており、いたるところ自学自習するためのテーブルとイスが設置されています。また、国際色がかなり強くヨーロッパ、アフリカ、中央アジアの各国から生徒が学びに来ているようです。日本人は少ない（まだ会ってない）ので日本語に逃げることはできません。もちろん、ほかの生徒はみな英語が堪能なので英語学習の場としてもとてもいい大学だと思います。

フィンランドに着いてもう二週目に突入しようとしているので、最低限、渡航前に決めた留学中の課題はこなしていけるように頑張ります。

## 2．生活の状況

まずは、衣食住の住についてですが、タンペレでは基本的に留学生は TOAS という大学公認の会社がアパートメントを取り仕切っています。私が割り当てられたアパートは大学から歩いて10分、月230€、共用のキッチン、トイレ、バスルームで一部屋2名タイプのものでした。私はすでに寮生活を経験しているのでなんの苦も無く生活できています。むしろ、このアパートには共用のジム、卓球台、サウナなども付いているので、これからの生活が楽しみです。共用のサウナはかなりキレイで毎日入ろうと思います。また、ルームメイトはロシア出身ポーランドの大学から来た Ilia という、とても優しくいつも部屋でプログラミングの勉強をしている頭のいい青年です。これまた仲良くやって行けそうです。



写真2: 共用のサウナ

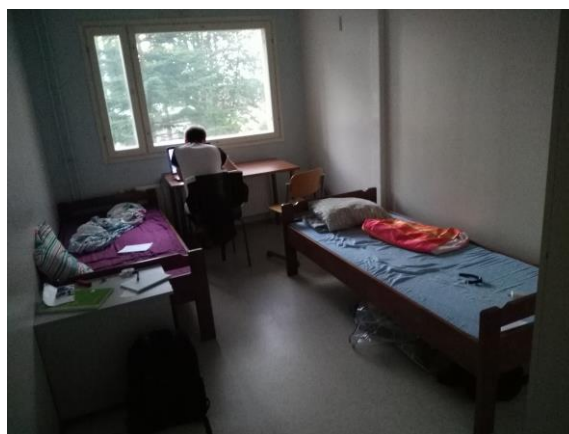


写真3: 自室とプログラミングの勉強をしている Iliia

食については、スーパーの食品のほとんどが日本の1.5倍から2倍ほどします。とくにお肉類、魚類の値段が高めなのが厳しいですが、米やパンはあまり変わらない値段なのでうまくやっているといます。また、TUT内の学食で2.6€で盛り放題のビュッフェがあるのでとても助かります。街のレストランについてですが、ハンバーガーやピザはだいたい7€、11€と日本よりちょっと高いかな、ぐらいでした。

最後に衣についてです。いまはまだ8月の終わりでだいたい15°C前後と思っていたより暖かったのだからジャケットを羽織るだけで大丈夫です。

今のところ、ホームシックにもならず、うまく新しい生活を楽しむことができているのでこのまま生活面でも充実させていきたいです

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/09/01 ~ 2017/09/30 )

### 1. 勉学の状況

#### 1.1 専門科目

1<sup>st</sup>period では basic course of wireless communication という講義しかとりませんでした。ほかにもいくつか専門科目をとっていたのですが、内容を半分ほどしか理解できなかったため、まずは英語力を高めることに専念することにしました。1科目とはいえ、講義と演習にわかれているので楽ではありませんが、ほかの専門をとらなかつた分、集中して学ぶことができています。

また、Academic writing というコースで、“5G通信の現状と課題”というテーマで簡単な論文を書くことにしたので、いくつか関連する論文を読み、英語で記事を書く勉強をしています。

#### 1.2 教育

フィンランド式教育について学ぶ予定でしたが、プロジェクト実習の講義で“各国の教育制度とICCの関係性”という記事を書くことになり、これから各国の教育制度について調べ留学生を対象にインタビューなどの調査をする予定です。その中でフィンランド式教育についても学んでいくことにしました。

#### 1.3 ICC「Intercultural Communication Competence」

1<sup>st</sup> period では英語学習とともに ICC 関連の講義を集中的に学ぶことにしました。まず、ICC というのは Intercultural Communication Competence のことで、異文化間コミュニケーション能力と訳されているようです。これらの講義を通じて、国際的な場における異文化の受け入れかたや考え方、また自己をどのように表現するのかといったことを学んでいます。中には、初めて会う外国人に対する「where are you from?」という聞き方を否定する講義や、外国人留学生に配布するフィンランドでの生活の仕方や大学でのマナーが載っているパンフレットを否定する講義など、今までにはなかった目線から異文化認識を学ぶことができています。

#### 1.4 言語学習

－ 英語に関しては日常会話は滞りなく話せるようになったが、専門講義を理解するにはまだまだ不十分なので、リスニングとボキャブラリーを重点的に勉強しています。

－ フィンランド語は講義とタンデムで勉強しています。タンデムというのは自分の学びたい言語が母国語であり、かつ自分の母国語を学びたいというパートナーを見つけ、それぞれ自分の言語を教えあうシステムのことです。週一回のペースなので、楽しく気楽にフィンランド語を学んでいます。

## 2. 生活の状況

### 2.1 運動

TUT にはボルダリングの壁があるので、せっかくなのでボルダリングを始めることにしました。とても楽しいです。また、地下にはサンドバッグもあるので勉強に疲れたときによく使っています。

僕のアパートには卓球台が置いてあるので、週 3 でフランスの友達と一緒にピンポンをして遊んでいます。そして勝ったり負けたり引き分けだったりします。

### 2.2 観光

毎月最後の金曜日はみんな大好きムーミンミュージアムの入場料が無料になります。せっかくだかったので、タンデムの友達と一緒に行ってきました。ムーミンは幼稚園のときに見たっきりだったのでストーリーはうろ覚えでしたが、たくさんの **tableaus** (立体模型) や原画がおいてあり、それだけでとても楽しめました。ミュージアムのなかで見つけたスナフキンの言葉がかっこよかったので、ここにも書いときます。

One can never be truly free if one admires others too much, I know Snufkin



写真 1.1 ムーミンミュージアム



写真 1.2 ムーミンミュージアム



写真 3. タンペレの丘から見える景色

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/10/01～2017/10/30)

### 勉学の状況

#### 1.

10月は、とくに大きい変化はありませんでした。幸い、1ピリオドの期末テストはなかったもので課題に追われていたぐらいです。

10月の最終週からまた新しく2ピリオドが始まり、いろいろと時間割が変わったのでまた載せておきます。

wk44	Mon 10/30	Tue 10/31	Wed 11/1	Thu 11/2	Fri 11/3
all-day					
8am		8:00 - 10:00 TB109 TIE-41106 User Interface Design/Lec/01		8:00 - 11:00 RH201 TIE-41306 User Experience Design and Evaluation/EG01/01	
9am	9:00 - 12:00 PA103 KIE-08006 Intercultural Communication Skills/O/01				9:00 - 12:00 K1705 ELT-41206 Basic Course on Wireless Communications/Lec/01
10am	10:00 - 12:00 RH2 TIE-41306 User Experience Design and Evaluation/Lec/01		10:00 - 1:00 TB219 TIE-41106 User Interface Design/EG02/01		
11am					
12pm		12:00 - 2:00 SE201 ELT-46006 Introduction to Satellite Positioning/Lec/01			12:00 - 2:00 SL204 ELT-46006 Introduction to Satellite Positioning/Lec/02
1pm					
2pm		2:00 - 4:00 TC915 ELT-46006 Introduction to Satellite Positioning/E/01	2:00 - 3:30 library Tandem with Tomi		
3pm					
4pm					4:00 - 6:00 TB216 ELT-53407 Special Course on Networking/Lec/01
5pm		5:00 - 7:00 SE211 ELT-41206 Basic Course on Wireless Communications/E/01			
6pm			8:00 - 9:00 T3A FINNISH SOCIETY AND CULTURE		
7pm					
8pm					

2ピリオドでは、あまり電気電子工学に関係はありませんが、interface design の講義を2種類、satellite positioning という GPS の仕組みを学ぶ講義を新しくとることにしました。また、フィンランド語の勉強は Tandem でパートナーと自分のペースで学び、その分英語の勉強に充てようと思います。実際に留学にきてから2か月半がたちましたが、悠長に週2のフィンランドコースをとっている場合ではないほどに英語が上達していないためです。

2ピリオドではいったん自分の専門科目から離れて、ほかの分野を学んでいこうと思います

#### 2. 生活の状況

生活については先月と大きな変わりはないので、10月にあったイベントについて書いていこうと思います。

まずは、SISU という毎週行われる日本人とフィンランド人の異文化交流かつ勉強会についてです。これは、この時期に tampere に留学に来ている日本人留学生と tampere に住むフィンランド生徒がどっかの大学にあつまって、わんやわんやといろんなテーマについて話し合う会です。正直、日本人の集まりはそんなによくありませんが、フィンランドの文化やフィンランド人から見た日本の様子などいろいろと聞くことができるので僕は毎週参加しています。

2つ目は私事ですが、スコットランドに旅行してきました。グラスゴーとエジンバラにいったのですが、どちらも街並みが、古風なヨーロッパ！って感じで街の中を歩き回るだけで楽しかったです。また、デザインで有名な街だけあって、美術館、博物館の入場料が無料でした。おかげで、美的感覚が鋭くなった気がします。旅行の帰りにタリンにも寄りましたが、これまた世界遺産に登録されるだけあって、街並みが素晴らしかったです。とくに丘の上にある灯台からの景色が最高でした。せっかくここまで読んでくれたので、写真をお見せしたいところなのですが、不幸なことにこの旅行の帰り際にスマホの入っているバックを盗まれてしまい、残念ですがお見せすることができません。フィンランドは比較的安全だとはいえ、バスステーションで寝落ちしてしまうと盗難にあう危険があるのでくれぐれも気を付けてください。

タンペレでは主に Facebook をつかってイベントの情報がやり取りされていて、ほぼ毎日何かしらのイベントが開催されています。なので、毎日 Facebook を見るようにしています。ここが生活面で日本といるときと比べて一番変わった点かもしれません。



## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/01～2017/11/30)

### 1. 勉学の状況

11月になり、本格的に2periodの時間割りに移行しました。

この学期受けている講義でいくつか紹介したいと思います。

User Experience, User Interfaceなどはこれまで学んでこなかった分野ですが、グループワークがおおく講義自体もアクティブラーニングが基本になっているので、途中であきらめずに続けられました。モノづくりをする上で必要な最低限の知識を学べたのがよかったです。ただ、朝8時からの講義が多かったので早起きがつらかったです。日本とは違って、フィンランドの朝8時は深夜と全く変わらない暗さなので身体が意識についていけないことが多々ありました。

Satellite positioning というコースではGPSの仕組みを学びました。毎週の演習ではmatlabを使つての問題があるので大変でしたが、GPS, matlabといった身近な分野だったのでがんばりました。

また、TUTの講義とは関係がありませんが、Tampere街全体が支援しているInnoEvent Tampereという一週間かけて行うビジネスワークショップに参加してきました。街全体でこういったものを開催できるのは、Start-upが有名なフィンランドならではのようです。グループワークに関して、日本のものと比較すると全体の進め方やdiscussionのやり方には大きな違いがありませんでした。ですが、全ての会話が英語なので話の流れについていくのに精一杯でした。自分の意見を考えたり、相手のアイデアを深く理解するところまでできず、あまり発言できなかったのが悔しいです。

### 2. 生活の状況

ついに、フィンランドの冬に突入しました。雪や寒さはそこまでですが、日照時間が短いのがきついです。朝に太陽がないのがここまでしんどいとは思いませんでした。全然起きられません。それを除けば、楽しく毎日を過ごせています。ジム、サウナ、ピンポンは日常化し、食生活ではマルチビタミンや週に二回のサラダランチ(250¥)など、至って健康に過ごせています。

中旬にはスウェーデンに旅行しに行ってきました。上陸時間5時間だったのでノーベル博物館で日本人のノーベル賞受賞者を確認して帰ってきました。留学するとこういった、他国への旅行が身近になるのでうれしいです。

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/12/01～2017/12/31)

### 勉学の状況

#### 1.

12月は日本同様期末テストの月でした。教科は以下になります。

- introduction to satellite positioning
- basic course on wireless communication
- user experience design and evaluation
- finnish society and culture

英語でのテストは問題を理解するところからひっかかることが何度かあったので、次回からはそこを含めての対策が必要だと感じました。

ところで、TUTでは同じ科目のテストを中間、期末、次期と三回受けることができ、そのうちどれかで合格点をとればよい、という、日本の大学とは少し異なるテスト形態になっています。この制度のおかげで万が一今回合格点に届かなくても次回で挽回することができます。ここでは千葉大の補習とはまた違った形で救済措置がとられています。

#### 2. 生活の状況

フィンランドの12月といえば、雪は毎日のように降り、気温は常にマイナスだろうと考えていたのですが、そんなことはなく、雪が降るのは二日に一回あるかないか、降っても三日もすれば溶けてびちゃびちゃになってしまうのでまだ僕の地元の岩手・石鳥谷の方が寒いのではないか、と思うほどでした。

この月の前半はテスト勉強で忙しかったものの、後半からは大学も休みに入り、フィンランド人と日本人留学生で鍋を食べたり、市内に開かれているクリスマスマーケットを回ったり、フィンランド国内を旅行したりといういろいろ自由に過ごせました。

前期のみの留学生はここで帰国となってしまっているので大学で仲良くしていたアジア・フランスグループの友達やルームメイトのイリア君とはお別れになってしまったことが心残りです。彼らとはよくPP (ping pong) やサウナと一緒に入っていたので、一人ではPPもで

きず、サウナも一人でほっこりすることになるのでさみしくなりそうです。



写真1：タンペレ市内クリスマスマーケット

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/01/01～2018/01/01)

### 勉学の状況

#### 1. 勉学の状況

第一セメスターがおわり、新年になって第二セメスターが始まりました。

今学期では **electronics design, cross-cultural design, human-centered product design** などといったハード面とソフト面のデザインを学びつつ、**wireless sensor networks and application, 5G mobile communication** などのコースを履修しました。

デザイン関係の授業は、講義内容も自分にとって新しく、また、主にグループワークでの活動となるので楽しく学べます。

通信関係の授業は、院生向けの講義となっていたので講義内容はとても難しくついていくのが難しかったのですが、基礎的な講義よりも身近な話題だったのでおもしろく、こちらもとってもよかったです。

#### 2. 生活の状況

年末にフィンランド中を旅行して、その流れで年始はだらけてしまいましたが学校がはじまってからはちゃんと生活リズムを整えることができたのでよかったです。

一月はタンペレの外に遊びに行ったりはしませんでした。友達の家でクッキーを焼いたりボードゲームをしたりしてフィンランドの冬を楽しみました。



## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/02/01～2018/02/28)

### 勉学の状況

#### 1. 勉学の状況

1,2月が第三ピリオドに分類され、このピリオドのみのクラスは2月のおわりに期末テストがあります。今回、私は履修したものの中でテストがあったものは **cross-culture design** のみでした。このテストの前に最終プレゼンがあったのですが、なんとか自分のパートはうまく説明しその後の質疑応答でもちゃんと答えられたと思います。内容は **foresquare** というレストランやレジヤースポットの検索アプリを日本の文化的側面を考慮してデザインしなおす、というものです。たとえば、海外、主に欧米ではシンプルなホームデザインが好まれています、日本の場合はホーム画面になるべく多くの情報を詰め込むようなデザインが使われています。これは **hofstede's cultural dimension** の **uncertainty avoidance** の数値が高いため、不安要素をなるべく減らそうとした結果だと考えられます。

このように、なぜそのデザインになっているのかを文化的側面から考え、それを理論づけしその国に合うようにデザインし直す、ということをしていました。

第一ピリオドで **intercultural communication competence** のコースをとっていたので文化の違いについて学んでいたのも、それをうまく生かすことができたと思います。

また、この最終プレゼンでほかのグループも日本文化をテーマにしていたので、やはり日本の文化はほかの国の人からしたら興味深いものなのだと感じました。

この月はほかのクラスでも何度かプレゼンがあり、英語でのプレゼンに慣れはしたもののまだまだなので、今後の課題にして頑張っていきたいです。

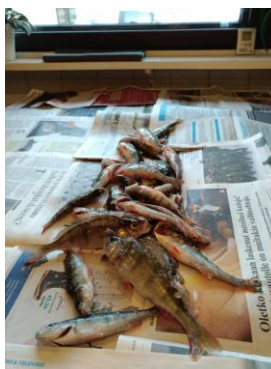


## 2. 生活の状況

二月が一番寒いとみんな言っていた通り、この月は本当に寒かったです。-20℃が1週間続きました。外に出ると息をするのがしんどかったです。

また、今月はフィンランドらしいことがいくつかできました。ビールを飲みながらサウナと湖に入ったり、凍った湖でアイスフィッシングをしたりしました。2月の後半は気温が-10℃ぐらいに落ち着き、一週間ほど晴天の日が続いたのでそのときにアイススケートやソリで遊ぶこともできました。

フィンランドでは厳しい冬の気候でもそれを楽しむことができるのでとても充実した生活を送ることができています。





## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/03/01～2018/03/31)

### 勉学の状況

#### 1. 勉学の状況

3月にはいり、第4ピリオドが始まりました。先月、**cross-culture design** の講義が終わったのと入れ替わりで、**electronics design** の講義が始まりました。この講義もグループワークで課題をして提出していくタイプのやつでした。僕のグループには韓国の女の子と中国人の男の子3人が集まって、東アジア代表みたいな感じでした。講義内容は、ビジネスと経営と工学の各側面から考えて課題解決していく、その知識を学びつつグループワークで実践していくというものでした。講義内容も自分にとっては目新しく、グループの雰囲気もいいのでうまくやっていけそうです

前ピリオドから引き続き講義をとっている **human centered product design** では、チームとしてうまく回っていなかったのしんどかったですが、講義自体は楽しんで学んでいます。

通信関係の講義は相変わらず難しいままです。

最終ピリオドにはいったということで、悔いのない留學生活を送れるように気を引き締めて頑張っていこうと思います。

#### 2. 生活の状況

3月に入り、気温も少しづつあったかくなってきた気がします。でもそれは気のせいでした。がつつり寒かったです。そんな寒い中、フィンランド人の友達のレオ君がサマーコテージに連れて行ってくれました。名前はサマーですが、冬でももちろん使えます。2泊泊めてもらっている間にアイスフィッシングをしたり、ソリで遊んだり、サウナに入ったりしてました。それ以外はただただコテージの中でぼーっとしてました。サウナに入った後に、横にある湖の水をぶっかけてもらうのが最高に気持ちよかったです。

ほかにもいろいろ遊んでましたが、3月のベスト思い出賞はこのサマーコテージになりそうです。







トイレまで木でできててびっくりしました。

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/04/01～2018/04/30)

### 勉学の状況

#### 1. 勉学の状況

今月ですべての講義が終了しました。最後に残っていた講義は **electronics design, human centered product design, wireless sensor networks and application, 5G mobile communication** でした。

**Electronics design** は期末テストがなく、その代わりに最後の講義で最終課題にチームで取り組みその結果を提出するという今までにない方式でした。**Human centered product design** は期末テスト、最終プレゼン、最終課題があり、テストはなんとか赤点をしのぎ、最終プレゼンもやることにはやれたのですが、最終課題で引っかかってしまい、単位は取得できませんでした。終始チームとしてうまく回っていなかったことが今回の失態の原因だと思います。単位は取れなかったものの、知識的にも経験としても収穫は多かったと思います。**Wireless sensor networks and application** は期末があり、普通に難しかったです。**5G** は期末テストなしの最終レポートのみでしたが、いままでの講義の知識、すべてを網羅しなければならなかったので決して楽ではなかったです。

今回の留学を勉学の点から振り返ると、大学の講義でいろいろ学んだというよりは自学習で学ぶことの方が多かったような気がします。**TUT** は自学習しやすい雰囲気、いたるところに自学習用のスペースが設置されています。僕の場合は大学でずっと **tedtalk** を観てたり、英語の自学習をしてたりしました。ぼくの場合はだらけてしまうことが多々あったのですが、自分でちゃんと勉強できる人にとっては **TUT** は最高の場だと思います。もちろん、講義の豊富さも大きな魅力だと思います。

また、学外のイベントがたくさんあるのでそういったことに参加して得た経験も自分の中では大きいと感じました。たとえば、地元の優秀な高校生とハッカソンで競えあえたり、一週間のビジコンに参加できたりします。

今回の留学で、勉学の成績としては良くはありませんでしたが、成績に出せない部分で実りのある留学ができたんじゃないかな、と自分の中では思っています。また、その結果に自分自身でも満足しています。

#### 2. 生活の状況

4月の後半に入ると、5/1の勤労感謝の日に向けてそれまでの間、学内・学外の至るところであ

らゆるイベントが開催されます。そう、wappu が始まりました。フィンランドではこの 5/1 の labor day(勤労感謝の日)がとても重要なようで、その日が近づいてくるとどいつもこいつも浮足立っているようなイベントを開催し、参加しまくるようになるのです。これがだいたい4月の後半から5/1まで続くのです。このシーズンを wappu と言います。ぼくもいろいろなイベントに参加して wappu の雰囲気を楽しんでました。

これ以外にも、今年は異常気象らしくて4月の終わりごろにはすでに雪が解け、太陽が一日中出ている、ぽかぽかと陽気な日がたくさんありました。すると、いままで家に閉じこもってたはずのフィンランド人がみんないっせいに外に飛び出しそこらへんの原っぱでひななぼっこをしますのです。ぼくは蟬みたいだなーっと思いながら一緒にひななぼっこを楽しんでいました。

ほかには、タンペレにある日本人・フィンランド人の友好会「kawaii japani」でお別れ会をしたぐらいです。留学が始まってから終始このグループの方々にはお世話になりました。もし、タンペレに留学することがあれば、ぜひこのグループに参加してみてください。Face book で簡単にみつけられますので。

この留学を生活の面で振り返ると、食生活は自炊か大学の食堂、服に困ったこともなく、住む場所は日本に住んでいた頃よりずっといいアパートに住まわせてもらいました。衣食住に関してはかなり充実した生活を送れていたと思います。交友の面でも、大学内ではいい友達に恵まれ、学外でも楽しく遊べるグループをもつことができました。ほかにも気候や街の雰囲気、人柄など日本とは違う部分が多々ありましたが、うまく順応して楽しく生きていくことができました。なので生活の面でも、満足のいく留学ができたと思っています。